

NO, 1



現在の活動状況

NPO法人ひたかみ水の里



ひたかみ水の里の活動

- ・ 親子カヌー体験
- ・ めだかっこクラブ
- ・ 水辺のイベント事業

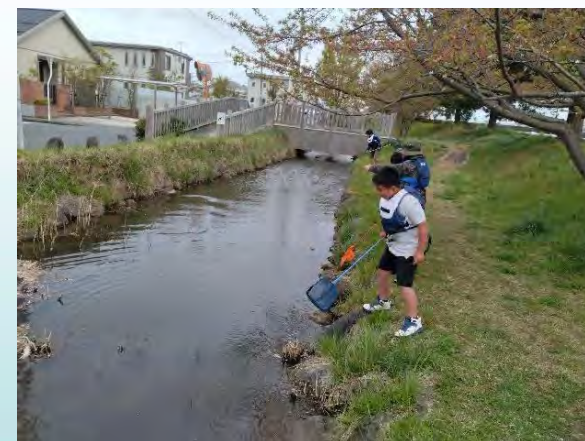
親子カヌー体験

石巻管内の親子対象に実施



めだかっこクラブ

北上川めぐり、水難救助、東日本大震災見学を実施



水辺のイベント

水辺で乾杯、コメ運びイベント、マルシェなど





ありがとうございました

2023. 10. 6

みやぎの運河群連絡調整会議・報告事項

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

・2023年活動実績予定

2月8日 北北上運河に関する講習会

講師・野蒜塾後藤先生

2月10日 北北上運河の自然環境を守る会議

前年度実施した現地調査に基づきその後の進捗状況報告討議

メンバー

国土交通省北上川河川事務所・宮城県東部事務所・石巻市建設部

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

4月10日 水質検査のための予備調査

北北上運河に架かる橋上から河底までの距離測定（10か所）

4月15日～10月中旬 運河堤防沿いの草刈り、清掃

4月～8月実績 11回延べ360人活動

7月19日 貞山小学校でのカヌー教室

（前夜の大雨により学校プールで実施）

・今後の重点課題

1. 水質改善

継続的な水質調査・注排水管理

2. 桜並木、松の再生

3. 石井閘門、釜閘門の公園整備

関係諸官庁の指導助言協力を受け是非とも取り組みたい。

以上

2023.10.06

貞山・北上・東名運河研究会の主な活動紹介

貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀

明治政府の直轄事業として鳴瀬川河口に展開した野蒜築港計画、北上運河の開削から始まり、北上川～鳴瀬川～松島湾～七北田川～名取川～阿武隈川を舟運でつなぎ、当時、安全かつ高速で人・物資の輸送網として期待されました。野蒜港は、明治15年に開港するも汽船の錨地、潜ヶ浦に堆砂が進行し、翌年、東名運河が開削されます。塩釜以南も野蒜築港の関連して、堀群が拡幅改修され、後に貞山運河と称されます。

野蒜築港の地、野蒜海岸は1801年の伊能忠敬の測量から現在までの約220年で約1000mという驚異の前進を見せた砂浜海岸で、水と砂とが織りなす自然地形が財産です。これら海岸線の浜堤や後背低地に2011年3月、約10mの津波が襲来しました。

復興創生が進む中、北上運河、鳴瀬川河口、野蒜海岸、東名運河、長浜（東名）の地形の成り立ちとくらしの変遷を学びながら、地元住民が中心に活動する「野蒜塾」や行政の皆さんと共に、次世代につなぐ学習教材の開発などに取り組んでいます。

2023.01.29 **高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」**
第4弾 水辺環境フォーラム～次世代につなぐ～

2023.06.30 **高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地・長浜(東名)」**
第5弾 水辺環境フォーラム～次世代につなぐ～

2023.07.01 **長浜(東名)の現地見学会**
震災前後の砂浜海岸の生態系を学ぶ

2023.09.28 **仙台二華高校 北上川フィールドワーク**
野蒜海岸・洲崎湿地編

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地」第4弾

水辺環境フォーラム ~次世代につなぐ~

野蒜海岸は、1801年伊能忠敬の測量から現在までの約220年で約1000mという驚異の前進を見せた水と砂とが織りなす自然遺産です。また、その過程で幾度かの土地利用変遷を経て洲崎湿地が誕生しました。東日本大震災から12年、この水と砂のものがたりとして、奇跡の海岸「野蒜海岸」と奇跡の湿地「洲崎湿地」のいまを、平成生まれの高校生たちが、昭和生まれの野蒜の人々の楽しい記憶・懐かしい思い出・悲しい経験と共に、令和生まれの「野蒜風土記」として再び語り合います。

今回の報告会は、高校生から見た野蒜海岸・洲崎湿地の第4弾です。次世代につなぐ持続可能な取り組みとなるよう期待をもって開催したいと思っています。なお、新型コロナウイルス対策は、消毒、換気、距離などに配慮して行います。

○日程 **フォーラム(案)** 2023年 **1月29日(日)** 09:20~12:30

場所: **東松島市 野蒜市民センター** (予定) 会場には50名分のイスの配置・換気

主催: 貞山・北上・東名運河研究会、野蒜塾

共催: 東松島市、阿武隈生物研究会

後援: 国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県東部土木事務所、宮城県(森林整備課)、宮城県東部地方振興事務所、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会
連絡先: 貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 090-4476-0810, E-mail:kokigotoh@gmail.com
野蒜塾 早川 宏 080-1855-2848

08:00~09:20 会場準備、 総合司会: 野蒜塾

09:20~09:35 開会あいさつ 貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人 後藤光亀
野蒜塾 副代表 早川 宏

来賓 東松島市長 渥美巖様 東松島市議会議長 小野幸男様

東松島市教育長 志小田美弘様

宮城県議会議員 高橋宗也様

国土交通省 北上川下流河川事務所所長 石田和也様

国土地理院東北地方測量部

宮城県東部土木事務所 宮城県東部地方振興事務所

09:35~10:50 話題提供 進行役: 貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀

○ふるさと野蒜の水辺環境…(話題提供15分、質疑:5分)

- ・奥松島の大地誕生ものがたり 仙台二華高校・地学部 元顧問 花松俊一
- ・野蒜海岸・洲崎湿地・東名浜の地形の成り立ちとくらし 野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会

- ・絵図・旧版地図・写真・地理院地図で見る野蒜海岸の地形と防災林ものがたり

野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会、宮城県東部地方振興事務所

- ・東日本大震災後の洲崎湿地の水質変遷 野蒜塾、東松島市、貞山・北上・東名運河研究会

10:50~11:00 休憩

11:00~12:30 話題提供

○高校生が見る野蒜海岸・洲崎湿地の水辺環境(話題提供7分、質疑8分)

- ・野蒜海岸のオニハマダイコン植生分布 (仮題) 仙台二華高校 2年 菅野美桜
- ・野蒜海岸の防災林と地域共生 (仮題) 仙台二華高校 2年 佐々木菜名
- ・野蒜地区の外来種生物 (仮題) 仙台二華高校 2年 佐山 華
- ・野蒜海岸と洲崎湿地地形の成り立ちとプロモーション動画 (仮題) 仙台二華高校 2年 工藤理桜子

- ・洲崎湿地の水質と水辺環境 (仮題) 仙台二華高校 2年 工藤蒼生

- ・洲崎湿地の水辺環境 (仮題) 仙台二華高校・化学部 佐々木周・河野友一

12:30~ 閉会あいさつ



野蒜海岸・実生のマツ曲がりは津波の影響?

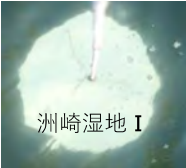


植栽と地下水位の関係を学習



化学部の水質調査

透明度: 1.2m以上 透明度: 0.5m



洲崎湿地 I



洲崎湿地 III

透明度板・水深0.4mの水相



洲崎湿地 I・II
エビの大群、全長15mm



現地調査の前、生徒と野蒜塾や宮城県とでセミナー、活発な意見交換!、大好評!!

写真: 2022.12.11の仙台二華高校、野蒜塾、宮城県東部地方振興事務所による野蒜海岸・洲崎湿地の共同現地調査



野蒜塾・片倉氏による石材の切出し・加工の解説



盛土のマツ若木の成長調査



盛土は野蒜ヶ丘の造成残土



盛土は松島層Mt5・軽石凝灰岩と大塚層Ot1・シルト岩



洲崎・二線堤のハハコグサ
盛土は野蒜ヶ丘の造成残土



洲崎・二線堤の外來種
アメリカオニアザミ



在來種・外來種の
植生分布調査



だんどの山、火山の噴火口
が近かった?



昔の水の流れが分かる
不老山の斜交層理

写真: 2022.12.18の仙台二華高校・地学部と野蒜塾による奥松島の地質調査



総合司会 野蒜塾 門脇氏
 開会の挨拶 貞山・北上・東名 運河研究会 後藤代表
 野蒜塾 早川副代表

高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地の 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

2023.01.29 野蒜市民センター



野蒜塾の かっちちゃんです！



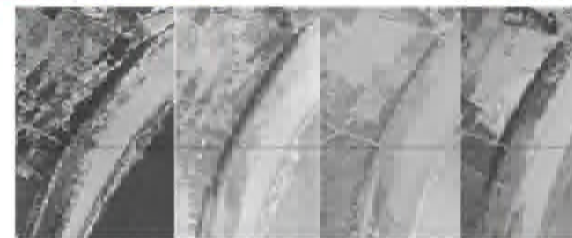
東松島市 副市長 小山 修氏



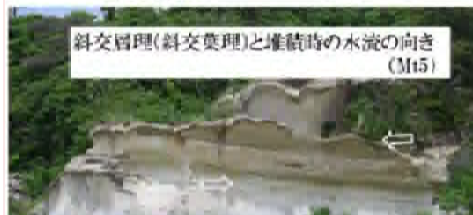
宮城県議会議員 高橋宗也氏

○ ふるさと野蒜の水辺環境

奥松島の地層の成り立ちについて、潜ヶ浦石、鷲ノ巣岩、不老山、だんの山のでき方、大塚層のコンクリーションなど、目からウロコの話ばかり、楽しいお話でした！
 元・仙台二華高校 地学部 花松先生



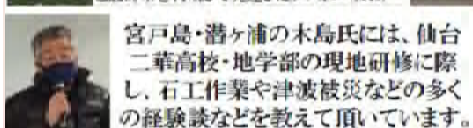
野蒜塾などの地元の津波の被災者や植林の経験者から当時の状況を伺いました。震災前、下の写真の様に地下水位が高く、マツの根の発達が十分ではありませんでした。



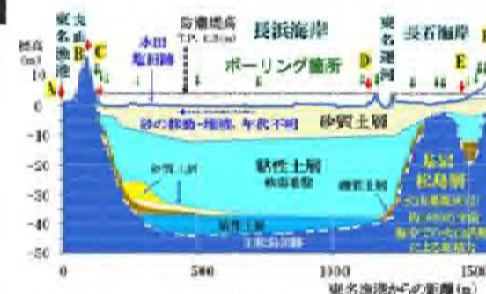
斜交層理(斜交葉理)と堆積時の水流の向き (M15)



鷲ノ巣岩 (M15 の凝灰岩 → 光の加減で濃緑色に見える)



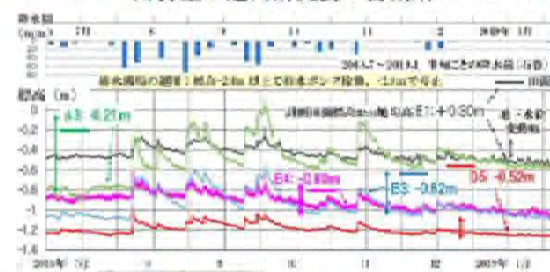
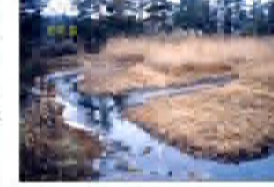
宮戸島・潜ヶ浦の木島氏には、仙台二華高校・地学部の現地研修に際し、石工作業や津波被災などの多くの経験談などを教えて頂いています。



野蒜海岸・洲崎湿地・東名浜の地形の成り立ちを空中写真・地理院地図・ボーリング図から解き明かし、この地域がそのままジオパークであることを実感しました！
 野蒜塾 + 運河研究会



野蒜海岸の地形と防災林のものがたり、チリ地震津波や今後の津波による野蒜(洲崎)海岸の防災林の植生状況を地下水の高さなどから考察し、今後の防災林の管理について意見交換をしました。
 野蒜塾 + 運河研究会 + 宮城県



東日本大震災後の洲崎湿地の水質変遷を取りまとめ、塩田跡であった洲崎水田の地下水調査等から、2022年から海水導入了る洲崎湿地の今後の水管理のあり方を考えました。
 貞山・北上・東名運河研究会 + 野蒜塾 + 東松島市



高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地の 水辺環境フォーラム ～次世代につなぐ～

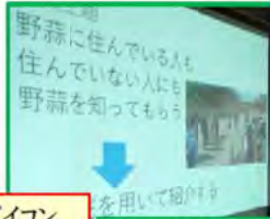
閉会の挨拶
野蒜まちづくり協議会
渡邊会長



○ 高校生が見る 野蒜海岸・洲崎湿地の水辺環境



野蒜海岸のオニハマダイコン
植生分布、2年 菅野美桜
洲崎海岸で、GPS写真+地理院
地図+水準測量から、植生分布
の謎解きを実施、質問者から今
後に期待される調査研究と評価。



野蒜地域における外来植物と
在来植物、2年 佐山 華、
野蒜ヶ丘の造成残土で構築され
た洲崎の二線堤で、GPS付き写
真で外来種アメリカオニアザミと
在来種ハハコグサの植生分布を
解析、その差がほとんどなかった。
質問者から、外来種アレチウリや
植物の世代交代の仕組みなどの
さらなる解明に期待が寄せられた。

- ・湿地ⅢがⅠより水の汚れ具合が大きい。
- ・湿地ⅢがⅠより塩分濃度が大きい。
- ・湿地ⅢがⅠより温度差が大きい。
- ・湿地ⅠもⅢも時刻が違くなると、濃度が上がる。

洲崎湿地Ⅰ・Ⅲにおける水質調査
2年 工藤蒼生
洲崎湿地ⅠとⅢでの観測結果か
ら、電気伝導度、濁度、溶存酸素
濃度の比較を実施。湿地Ⅰへの
海水導入を踏まえ、今後、塩分濃
度の変化や水の動きなどの調査
が必要と提言。



地形特性から見る野蒜地区
の東日本大震災の影響
1年 笠松俊介
洲崎湿地周辺の地形特性
が原因で震災の影響が大き
く残ったという仮説のもと、地
理院地図などを用いて考察
を加えた。今後は、昔の地
図などでさらに解析予定。

外来生物の食利用は
有効か？
1年 菊田美空
川村ののか 吉田果乃
外来種アメリカザリガニ
が外国では食材としての
利用を紹介し、食べて駆
除し、食の自給率の向上
も目指すなどを提言。会
場から、食べた経験者か
ら貴重なコメントも…。



野蒜海岸における防災林の植相及
び地域共生、2年 佐々木菜名
植林年代、盛土土壌、地下水の状
況などの影響を踏まえ防災林の成
長状況を解析。また、マツの年代観
察から今後の津波の影響を考察。ま
た、地域共生として、宮城県・岩手
県の防災林保護活動を比較し、そ
の共通点として活動資金の減少を
指摘。今後、植林の年度ごとの土
壌や地下水調査を実施すべきと提
案。防災林関係者も協力を約束。

- 目的
- ・野蒜を知ってもらおう
 - ・野蒜塾の存続
- ターゲット
- ・次世代(こどもたち)
 - ・野蒜の海にふれていない
- 内容
- ・野蒜の地形
 - ・地理院地図の使い方
- 動画を作成するのが良い

野蒜地区を例とした地理院地図の活用法、
2年 工藤理桜子、
地理院地図の機能を利用し、野蒜の地形と災害
リスクを把握するため、多くの方々がいづでも利
用できる5分で使える地理院地図の動画を作成。
自分で作る色別標高図や2次元や3次元の地形
の表現を動画で紹介。今回の感想をアンケート
集計し、さらなるバージョンアップを企画。

洲崎湿地の植生による
水質への影響
化学部
佐々木周・河野友一
洲崎湿地の水質調査結果とド
ローン撮影などから、水草・藻
類が溶存酸素濃度の変化を
考察。また、カワソルモの観
察や紫外外部吸光度、栄養塩
などの結果を報告。希少種・
カワソルモなどに焦点を当て
て調査を展開など、今後への
期待が寄せられました。



外来種アメリカオニアザ
ミの根が、ゴボウの様で
美味しいとのこと…。

最後に、防災林関
係者、国土地理院、
洲崎湿地の管理者
からコメントや提案
がありました。小金
教頭先生から感謝
の言葉も…。





アサリ 格子：1cm



サキグロタマツメタ 洲崎浜 (2022年)

高校生と見る「野蒜海岸・洲崎湿地・長浜 (東名)」 第5弾 水辺環境フォーラム

～次世代につなぐ～

野蒜塾創立5周年記念

野蒜海岸は、1801年の伊能忠敬の測量から現在までの約220年で約1000mという驚異の前進を見せ、洲崎浜を形成させた水と砂とが織りなす自然遺産です。その測量時、長浜の陸上測量を実施、大塚56軒、東名20軒、亀岡9軒の家が記録され、1778年、東灘(東名)長浜の後背低地に塩田を開墾したくらしの一端が伺えます。

1882年に、鳴瀬川の河口に野蒜築港が開港し、鳴瀬川等からの堆砂問題で1884年に東名運河が開削されました。その後、塩田、水田などの生業の地は、2011年の東日本大震災の津波がこれら低地を通り抜け、くらしは大きく変化しました！

東名運河より海側が住めなくなった今、次世代へつなぐ「風土記」を残すべく情報交換の場を設けました。しっかりと、そして、楽しく語り合いたいと思います。



キサゴ・宮戸島蛤浜 おはじき・遊び



ウミニナ・蛤浜

平成9(1997)年 東名の風景



東名漁港



東名の長浜水田 (塩田跡)



東名郵便局付近



後藤酒店付近 (撮影：1997.03.23)

○ **フォーラム(案) 2023年 6月30日(金) 14:00~17:00**

場所：東松島市 野蒜市民センター 会場には50名分のイスの配置・換気

主催：野蒜塾、貞山・北上・東名運河研究会 共催：東松島市、阿武隈生物研究会

後援：国土交通省北上川下流河川事務所、国土地理院東北地方測量部、宮城県、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会

協力：宮城県漁業協同組合鳴瀬支所

13:00~14:00 会場準備、 総合司会：野蒜塾

14:00~14:15 開会あいさつ 野蒜塾 副代表 早川 宏 貞山・北上・東名運河研究会 代表世話人 後藤光亀

来賓 東松島市長 渥美巖 様、 東松島市教育長 志小田美弘 様、 宮城県議会議員 高橋宗也 様、 国土交通省 北上川下流河川事務所、 国土地理院東北地方測量部、 宮城県東部土木事務所、 宮城県東部地方振興事務所、 宮城県漁業協同組合鳴瀬支所 (予定)

14:15~15:30 ○震災前後の長浜のアサリから見る松島湾の生態系 記念講演「東日本大震災の前後22年間・長浜(東名)のアサリ調査から見た松島湾の自然と生態系」

静岡大学 佐藤慎一教授 (元東北大学総合博物館)

震災前後の長浜(東名)のアサリやサキグロタマツメタなどの貝類の変遷から、長浜や松島湾の自然と生態系の多様性を考えます。

15:40~17:00 ○ふるさと野蒜の地形の成り立ちとくらし 野蒜塾

野蒜海岸、洲崎浜の塩性湿地、洲崎湿地、東名(東灘)・長浜の地形の成り立ちや地名、この地でのくらし(塩田・水田・井戸・方言など)を振り返りながら、次世代に残すべき「野蒜学」について「地理院地図」を活用しながら情報・意見交換を行います。

17:00~ 閉会あいさつ

18:30~ 懇談会 佐藤慎一先生を囲み、ふるさと野蒜の自然・生態系を語ります！ (場所未定：参加希望者は下記の連絡先まで)

○ **現地見学会(案) 2023年 7月1日(土) 07:00~11:30**

集合場所：長浜(東名)の防潮堤 (松島湾側、場所はフォーラム時にお知らせします)

佐藤慎一先生の長浜(東名)でのベントス(貝類など)コドラード調査(7:00開始)を見学させていただき、その後、陸繋島(トンボロ地形)の東名(東灘)の通称ふんどし町・東名集落跡を見学し、野蒜海岸、洲崎浜、洲崎湿地の地形の成り立ちとくらし(塩田・水田・潮害防備保安林など)の変遷を学びます。

連絡先：野蒜塾 早川 宏 080-1855-2848、

貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 090-4476-0810, E-mail:kokigotoh@gmail.com

平成9(1997)年 東名の風景

(撮影：1997.03.23 後藤光亀)



東名浜 (長浜)

あさり入漁案内																															開口日(青)			禁漁日(赤)			
三	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月	日	月	日	月	日
四	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	月	日	月	日	月	日	
五	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	月	日	月	日	月	日	

入漁料 大人1000円(小学生以外) 鳴瀬町漁業協同組合

あさり入漁案内 (鳴瀬町漁業協同組合)



食堂・駐車場 (鳴瀬漁協)



入漁料金

平成9(1997)年 東名の風景



東名の屋敷林・やぶ



東名の屋敷林と水田 (長浜塩田跡) (撮影：1997.03.23)



見学会・集合場所



総合司会 野蒜塾 浜氏
開会の挨拶 野蒜塾 早川副代表
祝辞 東松島市 森課長
国土交通省 北上川下流河川事務所 齋藤所長

高校生と見る 野蒜海岸・洲崎湿地・長浜(東名)の 水辺環境フォーラム～次世代につなぐ～ 野蒜塾・創立5周年記念

2023.06.30 野蒜市民センター 参加者44名



野蒜塾の かつちゃんです！
国土地理院 東北地方測量部 越智部長
宮城県東部地方 振興事務所 大類部長
閉会挨拶 野蒜 まちづくり協議会 渡邊会長

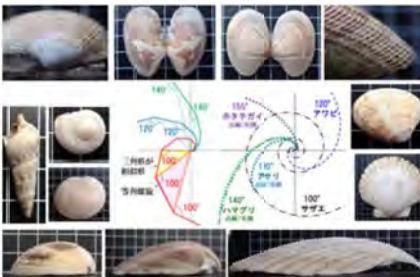


記念講演 佐藤慎一 教授

○ 震災前後の長浜(東名)の
アサリから見る松島湾の生態系
・記念講演「東日本大震災の前後
22年間・長浜のアサリ調査から見た松
島湾の自然と生態系」
静岡大学 佐藤慎一 教授
(元東北大学総合博物館)
2001年～2022年の震災前後の長浜(東
名)のアサリやサキグロタマツメタなどの
貝類の変遷から、長浜や松島湾の自然と
生態系の多様性を考えました。



○ ふるさと野蒜の水辺環境



○ 語ろう「ふるさと野蒜」の宝もの・方言 ～「方言の見える化」～

方言の
見える化
おらほのこぼ



野蒜塾 飯川悦子

体の部位を医師や周りの人々に伝える野蒜弁



野蒜弁・会話「あんだ」シリーズ



○ 「ふるさと野蒜」の地形の成り立ちとくらし (野蒜塾)

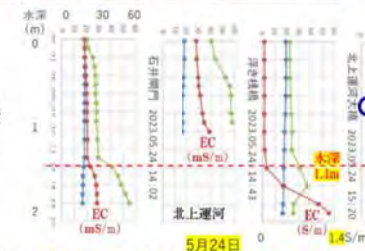
野蒜海岸・洲崎湿地・長浜(東名)の地形の成り立ちとくらし
野蒜海岸、洲崎浜の塩性湿地、洲崎湿地、東名(東灘)長浜
の地形の成り立ちや地名、この地でのくらし(塩田・水田・井戸・
方言・生き物など)を振り返りながら、次世代に残すべき「野蒜
学」について「地理院地図」を活用しながら情報・意見交換を行
いました。

1997年3月の写真(展示)、地形の成り立ちと地名やカエルの
「見える化・聞こえる化」から見た「ふるさと野蒜」の水辺環境の
変化について意見交換しました。



記念講演
では、参加
者から活発
な意見交換
が行われ
ました。

震災後の東名運河・北上運河の水質状況
貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀



・震災前(1997年)の写真で見る
「ふるさと野蒜」の記憶と思い出



○ 野蒜海岸・洲崎湿地・長浜(東名)の自然・生態系の学術調査が開始!



福島大学の黒沢研究
室による野蒜海岸と洲
崎湿地の植生調査が
始まり、その成果の一
部が紹介されました。
野蒜塾や東松島市も
調査に協力しています。
2023.05.08



仙台二華高校による野蒜海岸・洲崎湿地の調査
2023.05.21



環境生態工学
研究所の櫻井
氏から長浜(東
名)での水環境
保全技術の実
験計画が紹介
されました。

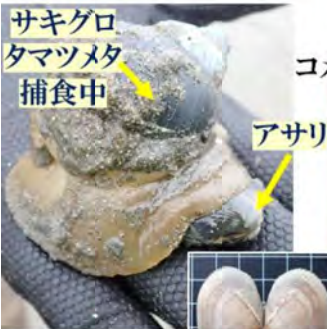
野蒜海岸では、親子連れなどの一般市民による貝類の密漁が堂々として行われています。野蒜
海岸の利活用に関するルールづくりと、その発信が求められています。 2023.05.21

丸山崎



コドラード調査
25×25cm
静岡大学
佐藤教授

サキグロ
タマツメタ
捕食中



アサリ



アサリ



コメツキガニの砂だんご



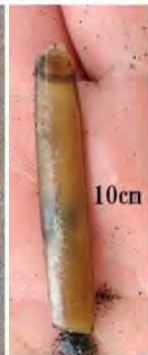
コメツキガニ

深さ10~20cmの巣穴



マテガイ

サキグロ
タマツメタ捕食中



マテガイ



カガミガイ



ウミノナ類

長浜(東名)の生き物たち ~砂浜のマリモとモンブラン~ 2023.07.01 現地見学会

砂浜のマリモ



タマシキゴカイの卵塊

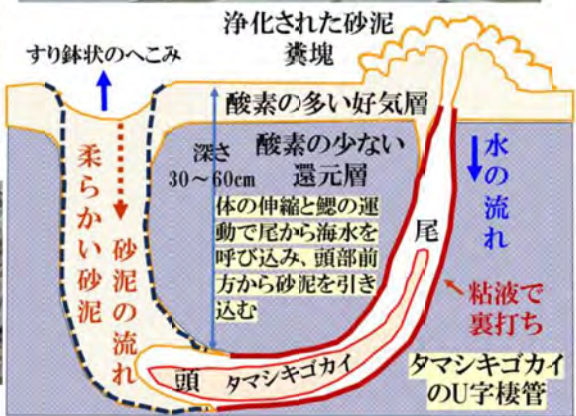
砂浜のモンブラン



タマシキゴカイの糞塊



砂浜の一面に
タマシキゴカイ
の卵塊と糞塊



長浜



ガザミ(ワタリガニ)



タカノ
ケフサイソガニ



カサガイ
の一種



岩や人工物にカキが着生、そのすき間がイソガニやイソギンチャク、巻き貝の棲みか



モクズガニ



イソガニの一種



マメコブシガニ
(交尾後ガード)



ヒザラガイ
の一種



スゴカイイソメの棲管
(入口の部分のみ)

貝殻・海藻・砂でおしゃれなすみか(棲管)を構築



イシワケイソギンチャク



タテジマ
イソギンチャク
(赤や黄色の縦縞)

シャコ(肉食)も
U字棲管
(せいかん)
をつくる

*生き物の同定には仙台二華高校・生物部顧問・内野先生の協力を得ました

仙台二華高校 北上川フィールドワーク
野蒜海岸・洲崎湿地編

2023.09.28

09:10~15:00

集合：キボッチャ



写真提供：東松島市
撮影：2020.08.21

資料作成：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀

コロナ禍の2020年10月から始まった仙台二華高校1年生70名の北上川フィールドワーク～野蒜海岸・洲崎湿地編～
東日本大震災で大きな津波被災を受けた野蒜海岸、その地形の成り立ちと歴史をひも解きながら、
自然・歴史・環境・防災の切り口から、地元の市民団体や行政と共に、復興創生の被災地を学びます！

A: 鳴瀬川河口 野蒜築港 ～水と砂のものがたり～

野蒜築港・頓挫の歴史、河口・砂浜海岸の堆砂問題と東名運河・北上運河、流域治水・背割堤等

B: 奇跡の海岸「野蒜海岸」 ～海浜植物が守ったものは…？～

災害（津波・高潮・飛砂）から海岸線を守った海浜植物たち ～根茎が砂浜を守る？～
外来植物・オニハマダイコンと在来種・オカヒジキ ～汀の攻防～

C: 奇跡の湿地「洲崎湿地」復興創生計画 ～震災後の復興創生過程で見てきたものは？～
復興創生のポイント、水の交換はどう起こる？

D: 奇跡の湿地「洲崎湿地」の水環境・生態系 ～なぜに奇跡の湿地か？

洲崎湿地ができるまで…、日本一？の砂浜海岸の前進速度はなぜ起こったか？
地形の成り立ちと災害 ～なぜに災害が起こるのか、どのように逃げればよいのか～
水鳥たちの楽園 子育ての楽園？ 酸欠の水環境はなぜできる？
フロンティア植物（外来生物）の植生調査

協力 貞山・北上・東名運河研究会、野蒜塾、
国土交通省 北上川下流河川事務所、国土地理院 東北地方測量部、宮城県 東部土木事務所 東部地方振興事務所、
東松島市、KIBOTCHA

連絡先：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 090-4476-0810 メール：kokigotoh@gmail.com

NO, 4

貞山運河『御舟入堀』プロジェクト

公開セミナー

貞山運河とその役割

貞山運河の役割とその魅力について、宮城県文化財保護地区指導員の高橋守克先生にお話いただきます。ぜひお子様と一緒にご参加ください。

日時：2022年7月30日 10時～

場所：塩竈市公民館2階第1第2会議室

参加費：無料

申込：下記連絡先より、**氏名・連絡先・参加人数**をお伝え下さい。

連絡先：022-366-3331 (FAX)

teizan.unga@gmail.com

主催：貞山運河『御舟入堀』プロジェクト

運河の思い出写真・絵画展

同時開催

思い出の写真や絵画を募集しております！

詳細は下記までお問い合わせください。

080-3334-2550 (つちみ)

氏名	連絡先

2022年7月31日 公開セミナー



貞山運河「御舟入堀」プロジェクト主催



フットパス 開催のお知らせ

貞山運河「御舟入堀」を歩いて、歴史を紐解いてみませんか？
ガイドが詳しくご案内します。

「フットパス」とは、イギリスを発祥とする『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩く【Foot】ことができる小径(こみち)【Path】』のことです。

1. 日時 令和4年 **10**月**22**日(土) 10:00~11:30
2. 集合場所 貞山公園 駐車場 (9:50 集合)
(多賀城市笠神 5-7 / ホーマック多賀城東店向かい)
3. 服装 帽子、ウォーキングに向く服装と靴、各自飲みもの
4. 会費 無料
5. 行程 貞山公園 → 中峯橋 → 壁画鑑賞 → 大代切通し → 柏木神社 → 柏木遺跡 → 大代横穴墓跡 → (貞山公園へ逆コースで戻る)

参加ご希望の方は、下記にご記入のうえ **FAX 022-366-3331** にお申込ください。

お名前		ご住所
お電話		参加人数 名

お問い合わせ 貞山運河「御舟入堀」プロジェクト

〒985-0016 塩釜市港町 2-15-31

FAX 022-366-3331 またはメール teizan.unga@gmail.com

電話 090-7664-6491(武田)まで



2022年10月22日 フットパス



第 7 回 貞山運河 【クリーンアップ大作戦♪】 3/19(日) 10:00~12:00

場所：貞山公園

(多賀城市笠神 5-7
ホームック多賀城東店向かい)



対象：貞山運河の美化・清掃にご興味のある方であればどなたでも！

私たちの力で貞山運河を綺麗にしましょう！

持ち物：軍手、 費用：無料、

※ その他清掃に必要な用具は主催者側でご用意いたします。

参加ご希望の方は、下記に記入のうえ **FAX 022-774-1666** にお申しください。

お名前		ご住所
お電話		参加人数 名

〈主催〉 貞山運河「御舟入堀」プロジェクト

〒985-0016 塩釜市港町 2-15-31

ホームページ <https://teizanun.ga>

〈お申込〉 FAX 022-774-1666 、または

メール teizan.unga@gmail.com

〈お問合せ〉 080-3334-2550(土見)まで



貞山運河「御舟入堀」プロジェクト

2023年3月19日 貞山公園清掃活動



伊達な遊び、貞山運河から秋の松島に行く

松島湾 クルーズ 追い込み漁体験



貞山運河から松島湾を楽しむ企画をご用意いたしました。

奮ってご参加下さいますようお願い致します。

日 時	9月16日9時半～14時（予定）
場 所	貞山公園（多賀城市笠神5丁目7） 発着 <p>9：30 貞山公園船着場集合</p> <p>10：00 表松島へ出港</p> <p>貞山運河、塩釜港、表松島 ※政宗公、芭蕉も観た景色をゆっくり巡る。</p> <p>11：30 松島に伝わる伝統の追い込み漁体験</p> <p>12：00 無人島に隣接してある百畳筏で休憩</p> <p>龍神様が祀られている無人島探索</p> <p>12：30 追い込み漁で獲れた魚料理とアサリの太巻き</p> <p>わかめ汁等で昼食</p> <p>※飲み物ソフトドリンク&アルコール等は、各自持参ください。</p> <p>13：50 貞山公園船着場 到着</p>
対象者	貞山運河「御舟入堀」プロジェクト会員、各子供会会員
参加費	高校生以上5500円、小学生4400円、未就学児2200円（船代のみ）
主 催	貞山運河「御舟入堀」プロジェクト
申込み	下記連絡先まで、参加される方のお名前、お電話番号をご連絡願います。
問合せ	貞山運河「御舟入堀」プロジェクト 事務局（担当：つちみ） <p>TEL：080-3334-2550</p> <p>FAX：022-774-1666</p> <p>MAIL：tsuchimi.shiogama@gmail.com</p>

2023年9月16日 クルーズ企画



NO. 5

【第2回 みやぎの運河群連絡調整会議】資料

R05.10.06

仙台湾運河群歴史協議会

(正称:仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える協議会)

【R4年度事業結果】

項目	実施日	内容	講師等	備考
講演会や研修会	R04.05.28	(設立総会記念講演会) 「野蒜築港事業中止後の北上・東名運河の利用状況について」	斎藤 善之氏(東北学院大学教授)	
	R05.02.11	(地名講演会) 「仙台湾岸運河群周辺の地名」	太宰 幸子氏 (宮城県地名研究会 会長)	
地域探訪会	R04.10.02	【寒風沢研修会】		
		第1部:講演会 「近世～近代の太平洋航路と寒風沢・石浜港」	斎藤 善之氏 (東北学院大学教授、当協議会顧問)	
		第2部:寒風沢島探訪会	案内:NPOみなとしほがまガイド	



設立総会記念講演会 (R04.05.28)



地名講演会 (R05.02.11)



寒風沢研修会 第1部:講演会 (R04.10.02)



開成丸造艦の碑



日和山



日和山～砲台跡間の遊歩道



砲台跡

寒風沢研修会 第2部:寒風沢探訪会 (R04.10.02)

【R5年度事業計画】

項目	実施日	内容	講師等	備考
講演会や研修会	R05.05.13	(R5年度総会記念講演会) 「御舟入堀と御舟曳堀 ～仙台北下への物流ルート～」	畑井 洋樹氏 (仙台市歴史民俗資料館 学芸室長)	
	R06.02 上旬予定	(講演会) 「令和4年度の蒲生御蔵跡第1次発掘調査(中間報告)」[仮題]	仙台市文化財課職員(予定)	
地域探訪会	R05.11 予定	【野蒜築港研修会】(仮題)		
		第1部:講演会 野蒜築港の歴史等に関する内容	検討中	
		第2部:野蒜築港跡探訪会	検討中	

【連絡調整会議参画団体の交流から連携をめざして】

- ・交流:各参画団体のイベント開催情報をお互いに共有するシステムを確立し、お互いのイベントに参加する。
- ・連携:各団体の開催するイベントでミッションを共有する場合は協働や協力する。

定員
40名

貞山運河の 渡し舟と 新浜フットパス 2023

10/15(sun) 10:00-12:30



集合 9時35分 **新浜みんなの家** (仙台市宮城野区岡田字浜通54の2)



または直接 10時 貞山運河の新浜船着き場

みんなの船で運河を渡ろう

Eボートで舟あそび

木道を通って海まで行こう

特別プログラム 和船の曳き舟

せんだいメディアテークとアーティスト・川俣正氏が
展開するアートプロジェクト「仙台インプログレス」において
制作したみんなの船、2本の木道、そしてタワーを散策します。



【主催・お問い合わせ先】

新浜町内会

E-mail endoh_g@lemon.plala.or.jp

TEL 090-4630-8344 (遠藤)

協力

貞山運河倶楽部/NPO法人水・環境ネット東北

東北学院大学 平吹ゼミ・菊池ゼミ/カントリーパーク新浜



せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

| art node

※この事業は、公益信託 仙台銀行まちづくり基金の助成を受けています。

2023年度 新浜フットパス^{ほか} イベント予定

- 6/25(sun) 貞山運河界限の自然観察フットパス
- 8/6(sun) 貞山運河の渡し舟と新浜フットパス1
- 9/3(sun) 貞山運河の生きもの観察フットパス
- 10/15(sun) 貞山運河の渡し舟と新浜フットパス2
- 11/19(sun) 貞山運河界限の暮らしと新浜フットパス
- 12/3(sun) 新浜の自然と歴史の学習会
- 2024.2 貞山運河フォーラム



スケジュール (予定)

10:00 開会
 10:10 渡し舟と浮き橋で運河を渡り浜辺まで散策
 運河で曳き舟
 12:30 新浜みんなの家に戻って終了

- ◆ 参加費…200円
- ◆ 持ち物…飲み物、タオル等
- ◆ 服装…動きやすい服、歩きやすい靴、帽子

■交通案内■ バスをご利用の場合

地下鉄東西線荒井駅から「岡田・新浜行き」バスに乗車
 →「新浜」下車 徒歩2分

(おすすめ)

地下鉄 仙台駅発 荒井駅行き 8:53発→9:07着

→市バス 荒井駅発 岡田・新浜行き 9:13発→9:31着

※9時30分にバス停の前で新浜町内会の担当者が待機しています。
 ※帰りの荒井駅行きバスの時刻 12:11、13:11、15:11発



新浜みんなの家 (仙台市宮城野区岡田字浜通54の2)

■駐車場周辺図■ 新浜バス停そば (岡田字浜通40)



【お申込】 E-mail : endoh_g@lemon.plala.or.jp または FAX : 022-762-6563

※申込締め切り 10月9日(月) (但し、定員になり次第、受け付けを終了します。)

参加者全員のお名前 (保険加入のため)

代表者の連絡先 Eメール

TEL

貞山運河ネット 1月以降の状況

歴史セミナー開催

23年1月26日(土) 午後2時30分から仙台市福祉プラザふれあいホール。

基調講演の部

平間雅孝氏 アクアイグニス仙台 支配人

パネルディスカッションの部

郷土史家・菅野正道氏、

齋藤善之・東北学院大教授

コーディネーター兼パネリスト 当会副会長

大和田雅人氏



MAPの制作

貞山運河の歴史と今の様子がよくわかる貞山運河ガイドマップを制作した。

日本一長い貞山運河群に合わせて新聞用紙の4ページをつないだパノラマ版。



六郷小学校4年生124名の「貞山運河」学習を主催

8月31日(木) 貞山運河の歴史を中心に教室で学習

1時限

9月8日(金) および11日(月)

2クラスずつに分け貞山運河の自然観察、カヤ

ック体験、炭火焼き体験

終日



今後の予定

① 登米小学校生徒の作ったコメを子供自身が塩釜まで運ぶイベント開催

・登米船着き場～旧北上川～石巻南浜マリーナ→北上川フェアでコメプレゼント

10月29日(日)

・石巻～北上・東名運河～松島湾～御舟入堀～多賀城公園

イベントでコメプレゼント

11月3日(祝日)

趣旨：江戸期、明治初期のコメのルートの一部を子供たちが再現することで北上川、運河群の歴史を訴求する。今後の観光資源に。

主催：貞山運河ネット

共催：ひたかみ水の里

協力：国土交通省北上川下流河川事務所、石巻観光協会、御舟入堀プロジェクト、ほか

② 歴史セミナーの開催

2月23日、(金・祝日) 13:30～16:00 頃 名取市文化会館

演者：菅野正道氏 (郷土史家)、井上拓巳氏 (さいたま市大宮盆栽美術館学芸員)

大和田雅人氏 (当会副会長)

主催：貞山運河ネット、名取市教育委員会市史編さん室

③ 貞山運河展示場の制作

11月をめぐりに名取閑上メイプル館に貞山運河に関するパネルなどの展示場を設置する。

以上

NO, 8

令和5年 新貞山ローイングクラブ 活動報告 (中間報告) R5.9.13 現在

メンバー 29名 (R5.9.1)

3月18日(土) 新年(新シーズン)会 兼 歓送迎会

4月9日(日) 第1回乗艇会(岩沼・貞山堀)

5月14日(日) 第2回乗艇会(岩沼・貞山堀)

6月3日(土)～4日(日) 全国マスターズレガッタ(埼玉県・戸田漕艇場)

→ 豪雨・増水のため中止

6月11日(日) 第3回乗艇会(岩沼・貞山堀)

7月1日(土) 東北大学・北海道大学定期戦(岩沼・貞山堀) 招待レース参加

8月5日(土)～6日(日) 喜多方シティレガッタ(喜多方市・荻野漕艇場)

9月7日(木)～10日(日) 全日本大学ローイング選手権(埼玉県・戸田漕艇場)

各支援

(予定)

10月8日(日) 第4回乗艇会(岩沼・貞山堀)

10月29日(日) 石巻レガッタ(石巻市・北上川)

11月12日(日) 第5回乗艇会(岩沼・貞山堀) (納会?)

三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興プロジェクト



<背景>

■東日本大震災

- ・自然環境、自然公園施設・自然体験型利用への影響
- ・自然の脅威とのかかわり方の再考

■守り・育まれてきた自然と人とのかかわり

- ・豊かな自然に支えられた地域の暮らし、文化、産業、里山・里海

三陸復興国立公園の創設を核とした グリーン復興を実施<7つのプロジェクト>

- ①三陸復興国立公園の創設（自然公園の再編成）
- ②里山・里海フィールドミュージアムと施設整備
- ③地域の宝を活かした自然を深く楽しむ旅
- ④南北につなぎ交流を深める道・みちのく潮風トレイル
- ⑤森・里・川・海をつなぐの再生
- ⑥持続可能な社会を担う人づくりの推進
- ⑦地震・津波による自然環境への影響の把握

■平成25年5月

三陸復興国立公園の指定

■令和元年6月

みちのく潮風トレイル全線開通

みちのく潮風トレイルについて

- 環境省は、東日本大震災後、持続可能な地域づくりを目指すと共に豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐため「グリーン復興プロジェクト」を策定し、その取り組みの一つとして青森県八戸市から福島県相馬市までの4県29市町村にまたがる太平洋沿岸を一本の道で繋ぐ「みちのく潮風トレイル」の設定を進めてきたところ。
- 路線は既存の歩道や車道等を活用し、地元の意見を伺いながら設定。
- 標識、情報提供施設など利用のための整備を進め、自然風景、集落、観光スポット等を徒歩でつなぐことにより、地域の観光業・農林水産業を活性化し、復興に貢献するのが狙い。
- 平成31年4月に、ハイカーの拠点となる「名取トレイルセンター」がオープン。みちのく潮風トレイルの全線の統括本部として、路線管理、情報発信等を実施。
- 令和元年6月9日をもって全区間が開通し、全長1,000kmを超えるみちのく潮風トレイルの全線の設定が完了。令和3年10月に全線の標識整備が完了。



- 環境省、みちのく潮風トレイル統括本部、沿線5か所のサテライト施設、沿線自治体が連携して、路体管理や情報収集・発信、利用促進等を担っている。

みちのく潮風トレイルの運営体制

みちのく潮風トレイル運営体制	地域連絡会構成員	統括本部																みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター (NPO法人みちのくトレイルクラブ)													
		サテライト	極差海岸 インフォメーションセンター (NPO法人ACTY)	北山崎 ビジターセンター (NPO法人体験村・たのはたネットワーク、 田野畑村)	浄土ヶ浜 ビジターセンター (一社)浄土日和	碓石海岸 インフォメーションセンター (一社)大船渡市観光物産協会	南三陸 海のビジターセンター (NPO法人海の自然史研究所)																								
		環境官	八戸 自然保護官事務所	宮古自然保護官事務所			大船渡 自然保護官事務所			石巻 自然保護官事務所			名取自然保護官事務所																		
		地方公共団体	八戸市	陸上町	洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	岩泉町	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	気仙沼市	南三陸町	女川町	石巻市	東松島市	塩竈市	多賀城市	仙台市	名取市	岩沼市	亶理町	角田市	山元町	新地町	相馬市
			青森県		岩手県											宮城県										福島県					
			極差IC連絡会		北山崎VC連絡会			浄土ヶ浜VC連絡会			碓石海岸IC連絡会			南三陸VC連絡会			名取TC連絡会														

名取トレイルセンターについて

平成31年4月にオープンした、みちのく潮風トレイルを歩く上で必要な情報を発信・提供する環境省直轄施設。トレイルを歩くハイカーや地域住民、観光で来館された利用者が交流できる空間を提供。

センター内では、トレイル沿線の情報を展示した巨大パネルや、日本国内や世界のロングトレイルに関する書籍を見ることができ、80名収容可能な講義室、自然体験プログラムを提供する実習室、会議室などを整備。また、令和3年10月より野営場の供用を開始。園庭では地域の関係者との協働の下、森づくりを進めている。

施設の利用者数

令和元年度21,359人 令和2年度13,126人 令和3年度12,703人 令和4年度18,491人

みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会

会長(名取市長)

構成員

環境省

名取市

NPO法人
みちのくトレイルクラブ※

※協議会事務局

センターの機能

- ・案内カウンター
- ・売店
- ・トレイル全線の大型地図
- ・講義室、実習室
- ・シャワールーム等
- ・野営場（令和3年10月供用開始）



センター外観



合同植樹の様子



再生可能エネルギー由来の電力調達

トレイルと北上運河(石巻市・東松島市)



トレイルと貞山運河(仙台市)



主な取組について

みちのく潮風トレイルは、来年令和6年6月9日は全線開通から5周年の節目を迎えます。この5周年に向けて、みちのく潮風トレイル運営計画に参画する構成員をはじめとした関係者が、みちのく潮風トレイルをさらに盛り上げていくために、取組の強化を図っていきたいと思っています。

令和5年6月24日に名取市文化会館では、約120名の関係者が出席し、開通5周年に向けたイベントを開催しました。5周年に向けて、西村環境大臣と4県29市町村長等があらためて団結し連携することをアピールしました。

5周年に向けた機運を醸成するための取組として、イベント実施の際などに来年6月9日までのカウントダウンを行っています。この記録は、来年の5周年に向けて各種事業に活用していきます。



[ホーム](#) > [くらし・手続](#) > [環境・衛生](#) > [環境](#) > 多賀城市の環境啓発事業

お問い合わせ

ツイート

更新日：2023年9月29日

多賀城市の環境啓発事業

令和5年度事業

たがじょう春の生き物調査隊

日にち：令和5年6月4日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、カナヘビや草花を宮城県森林インストラクター協会の方々とともに採取したり、ネイチャークラフトに取り組んだり、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの真山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。普段の生活では触れることの少ない自然を満喫したり発見や学びを得たりと、充実した時間を過ごしていました。



たがじょう水辺の生き物調査隊

日にち：令和5年6月25日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

多賀城市内の小学生と保護者が、砂押川にどのような生き物が生息しているのか調査しました。川に入ったことがないという児童も多く、川の中を観察したり魚やザリガニを捕ったりと初めての体験を楽しんでいました。

いろいろな生き物が関わり合う生態系から得られる恵みを「生態系サービス」といいます。今回見つけた生き物たちも生態系的一部分です。参加した児童たちは、生物多様性を守ることが私たちの暮らしを支えることに繋がることを学びました。



夏季特別環境講座

日にち：令和5年8月19日（土曜日）

場所：大代地区公民館

小学生と保護者が、メタバース空間を利用して環境講座を受けました。株式会社TBMからはLIMEXという素材について、多賀城高校からは災害に関連した研究内容について教わりました。実際にLIMEXを破ってみたり、多賀城市にかかわる災害をテーマとした研究内容を知ったりと興味深く講座を受けている様子でした。メタバース空間内で行うクイズでは、楽しんで取り組む様子が見られました。

参加した児童たちは、いろいろな研究や技術に触れ、自分たちの生活の中でも環境を意識した選択をできることを学びました。



たがじょう秋の生き物調査隊

日にち：令和5年9月10日（日曜日）

場所：多賀城みずむすび公園

多賀城市内の小学生と保護者が公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに作成したネイチャークラフトで遊んだり、カナヘビやコオロギを捕まえたりと、体を動かし楽しむ様子が見られました。

近くの真山運河では、下流域のゴミ拾いや釣りの体験をしました。自然の中の遊びを満喫したり発見や学びを得たりと、充実した時間を過ごしていました。



多賀城政庁跡生き物調査隊

日にち：令和5年9月24日（日曜日）
場所：多賀城政庁跡周辺

小学生と保護者が多賀城政庁跡を散策し、周辺に生息する生き物を調査しました。東北緑化環境保全株式会社の方から解説を受け、多賀城の歴史や万葉植物に関するクイズに取り組みました。

参加した児童たちは、積極的に質問をしながら虫捕りや植物観察を楽しんでいました。多賀城には深い歴史があること、その歴史を守ることが自然環境の保護にも繋がることを学びました。



令和4年度事業

たがじょう春の生き物調査隊

多賀城市内の小学生と保護者が、2日間の「たがじょう春の生き物調査隊」の活動を行いました。

1日目

日にち：令和4年5月8日（日曜日）
場所：うしちゃん多賀城緑地公園

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、釣り餌となるミミズなどを宮城県森林インストラクター協会の方々とともに採取したり、そのまま食べられる植物をちぎって味見してみたりと、様々な体験に挑戦しました。

近くの真山運河では、下流域にはどのようなゴミがあるのかを調査し、多くの缶やペットボトルのゴミを回収しました。活動全体を通じて、市内には様々な生き物がいる一方で、自然環境が汚されている状況を知る機会となりました。



2日目

日にち：令和4年5月28日（土曜日）
場所：宮城県民の森青少年の森

森の中を散策しながら、森に生息する植物や生き物を調査しました。参加した児童たちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに、カエルやイモリを採取したり、見つけた生き物を図鑑で調べたりしました。

また、森の維持管理に必要な植林や除草、道づくりなどを体験しました。慣れない作業でしたが、それぞれの児童が積極的に挑戦する様子が見られました。豊かな森には様々な生き物が生息しており、その環境づくりにも関わっていることを知る機会となりました。



水辺の生き物調査隊

日にち：令和4年6月26日（日曜日）
場所：砂押川市川橋付近

多賀城市内の小学生と保護者が、水辺にどのような生き物が生息しているのか調査しました。今回の調査では、二ホンウナギなどたいへん珍しい生き物を確認することができました。またブラックバス、ウシガエルのオタマジャクシなど、特定外来種の生息も同時に確認されました。

砂押川の中に入っている生き物が生息していることを確認した一方で、缶、ビンなどのごみも見つかりました。参加した子どもたちは、人間のごみがない自然環境の中に入り込んでしまうと、その生き物たちの住処を壊してしまうため、ごみをしっかりと処分する必要があることを学びました。



たがじょう秋の生き物調査隊

多賀城市内の小学生と保護者が、2日間の「たがじょう秋の生き物調査隊」の活動を行いました。

1日目

日にち：令和4年9月11日（日曜日）
場所：加藤沼公園周辺

公園内を散策し、園内に生息する植物や生き物を調査しました。参加した子どもたちは、見つけた虫や植物を直接手に取るなど、自然の中での活動を楽しんでいる様子が見られました。講師である宮城県森林インストラクター協会の方から、見つけた動植物に関連する解説があり、子どもたちは興味深

そうに話を聞いていました。



2日目

日にち：令和4年10月9日（日曜日）

場所：宮城県民の森青少年の森

森の中を散策しながら、森に生息する植物や生き物を調査しました。参加した子どもたちは、宮城県森林インストラクター協会の方々とともに、見つけた生き物を図鑑で調べたりしました。また、森の維持管理に必要な植林や除草、道具の使い方などを体験しました。難しい作業にも積極的に挑戦する姿が見られ、保護者の方々とともに森づくりの大切さを学びました。



令和3年度事業

「たがじょう自然であそび隊」

日にち：令和3年4月24日（土曜日）

場所：うしちゃん多賀城緑地公園

宮城県森林インストラクター協会の案内で、園内を散策しながら樹木や草花を親子で観察しました。

子どもたちは木登りやボール遊びをして、ぶんぶんごまや桜のえんぴつなども作りました。

公園隣の砂押山運河では釣り体験もあり、自然を満喫していました。



「たがじょう生きもの調査隊」

日にち：令和3年5月30日（日曜日）

場所：加瀬沼公園周辺

参加者は宮城県森林インストラクター協会の案内で、自然の散策路を歩きながら生き物や植物の調査を行いました。

子どもたちは昆虫や水生生物の調査、ネイチャークラフトなど自然での体験を満喫していました。



「水辺の生きもの調査隊」

日にち：令和3年6月27日（日曜日）

場所：砂押川市川橋付近

株式会社東北緑化環境保全のおさかな先生が見守る中、参加者は川の中に入って、網を使いながら小さなカニ、エビ、コイ、マハゼ、ウナギなどの生きものを次々と発見しました。

子どもたちは普段触れ合うことのない水辺の生きものに触れ、自然を満喫していました。



※「たがじょう自然であそび隊」「たがじょう生きもの調査隊」は、多賀城市市制施行50周年事業の一つとして行われました。

令和2年度事業

「史都多賀城里山の生きもの調査隊」

日にち：令和2年11月1日（日曜日）

場所：加瀬沼公園周辺

多賀城市の北部には史跡と一体となって保全されてきた里山があります。令和2年11月に市内小学生の親子を対象に、里山に生息する昆虫や植物と触れ合う「史都多賀城里山の生きもの調査隊」を実施しました。参加者は、講師の森林インストラクターから、森の中にある散策路のそばに生えている草花の名前を教わったり、やじろべえ作りなどの遊びを教わったりしました。

平成31年度事業

「史部多賀城環境グループフェス」

日にち：令和元年8月23日（土曜日）、24日（日曜日）、30日（土曜日）

場所：多賀城市文化センター

子どもから大人まで、今を生きる私たちの世代が考え・取り組まなければならない環境について「気づき」を得るきっかけとして開催しました。イベントには市内外から多くの団体に出演していただき、様々な側面からの環境啓発や、ステージでは楽しく環境について学んでもらえるステージイベントなどを行いました。イベント最終日には本市出身の俳優・千葉雄大さんの生まれ育った多賀城の環境に関するトークイベントを行い、本市初となる「悠久浪漫大使」に任命しました。

※「悠久浪漫大使」について



「史部多賀城水辺の生きもの調査隊」

日にち：令和元年7月27日（土曜日）

場所：砂押川

多賀城市の中央を流れる砂押川に生息する魚やエビなどの生き物と触れ合いながら川の水環境を調査する「史部多賀城水辺の生きもの調査隊」を令和元年7月に行いました。参加者は実際に川に入り、調査のプロから魚の取り方などをレクチャーされながら調査を行っていました。川に住んでいる魚などの種類によって川の清らかさなどがわかるので重要な調査になります。

多賀城市の生き物たち

多賀城に広がる環境と生き物たちを、データでご紹介しています。

● [多賀城市の生き物たち \(PDF\)](#) (PDF: 3.133KB)

よくある質問

現在よくある質問は作成されていません。

お問い合わせ

都市産業部環境施設課資源環境係
〒985-8531 宮城県多賀城市中央2丁目1番1号
電話番号：022-368-1141（代表）
ファクス：022-368-9069

[サイトマップ](#) [このサイトについて](#) [ウェブアクセシビリティ方針](#) [お問い合わせ](#) [リンク設定](#) [掲載サイト](#)



〒985-8531 宮城県多賀城市中央2丁目1-1 電話番号：022-368-1141（代表） FAX：022-368-8104

[市役所へのアクセス](#)

[庁舎案内](#)

多賀城市

Copyright © City of Tagajo All Rights Reserved.

名取川藤塚地区かわまちづくり計画

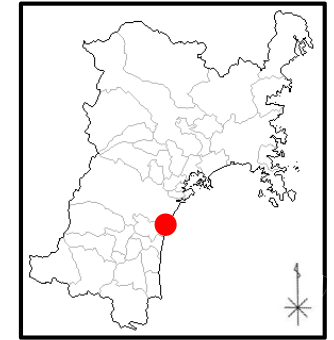
令和5年10月

仙台市

海岸公園（藤塚地区）基本計画

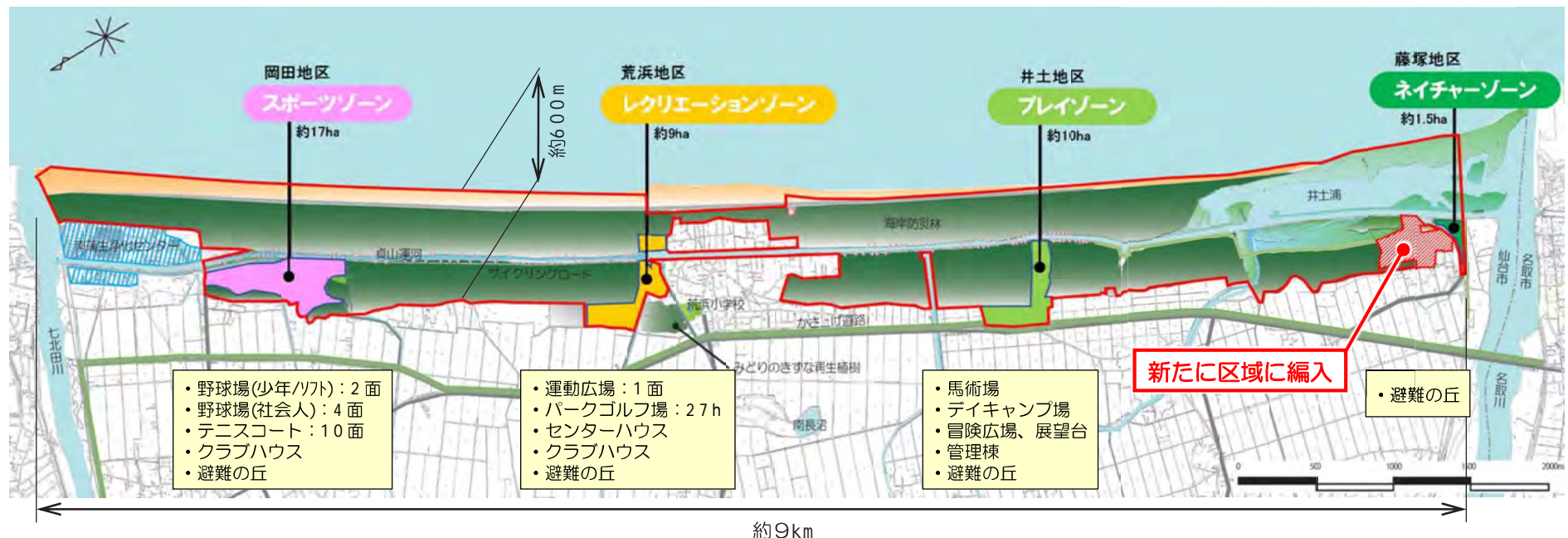
計画の目的

- ▶ 仙台市東部沿岸地域に位置する広域公園（計画面積552.1ha）。
- ▶ 貞山運河を中心に両岸の海岸防災林を形成するクロマツ林、湿原、干潟等の豊かな自然環境を保全。岡田、荒浜、井土、藤塚地区の4地区を施設地区として整備を進める。
- ▶ 東日本大震災に伴う大津波により全域が大規模被災（損壊流出）。
- ▶ 「海岸公園復興基本計画」（平成25年策定）に基づき、防災公園の位置づけのもと、災害復旧に着手。平成30年に4地区の全面利用を再開。



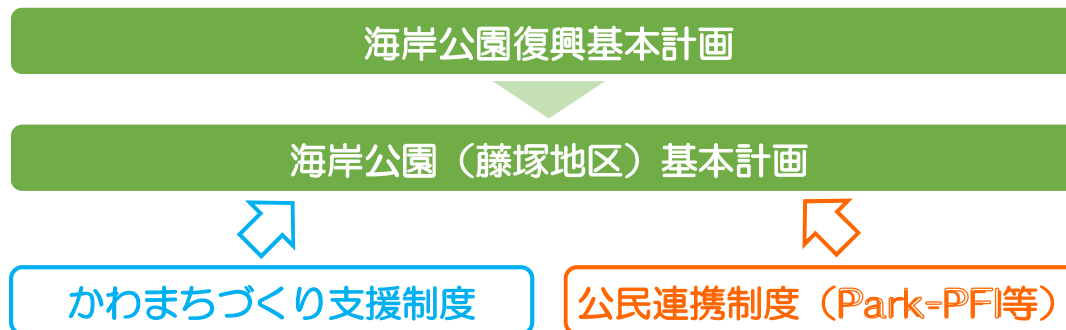
- ▶ 近年、防災集団移転跡地利活用事業等により民間施設が立地するなど、被災当初からの周辺環境の変化。
- ▶ 隣接する名取市を含めた広域的な連携や回遊性向上の要求の高まり。
- ▶ 若林区藤塚地区における防災集団移転跡地利活用事業による「公共利用ゾーン」を海岸公園区域に編入し、整備することを決定。

- ▶ 今年6月、「海岸公園（藤塚地区）基本計画」を策定。
- ▶ かわまちづくり支援制度やPark-PF等の公民連携制度を活用し、国や民間事業者と連携した賑わい創出を図る。



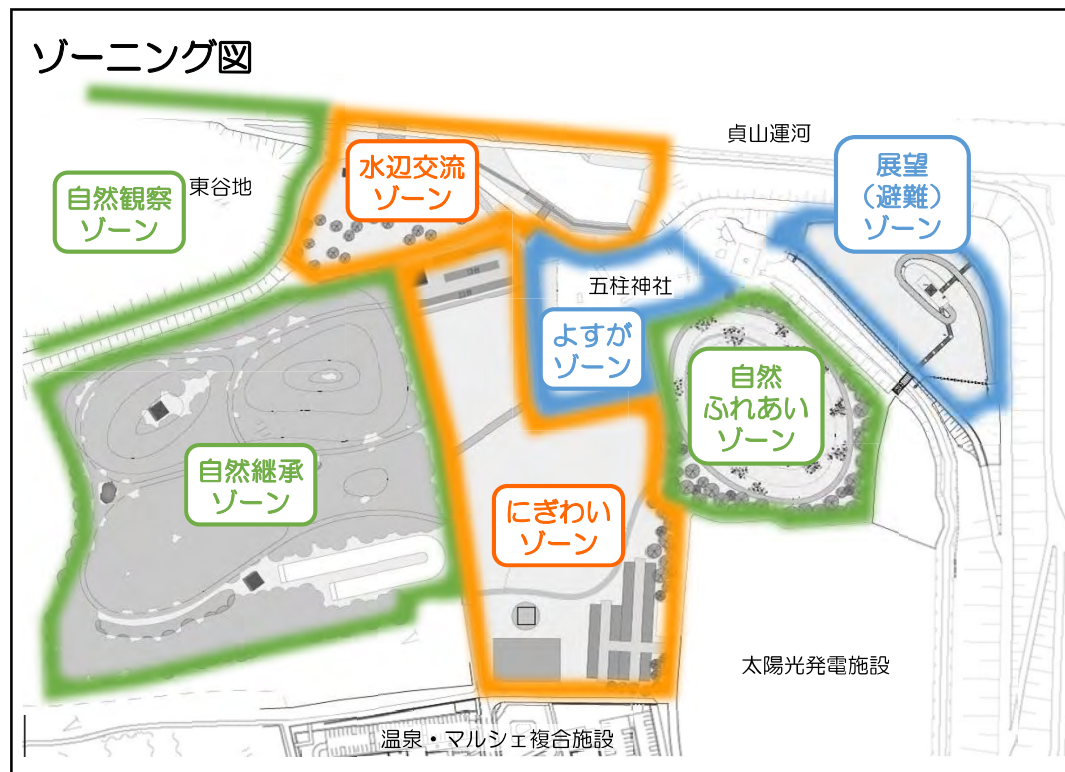
海岸公園（藤塚地区）基本計画

計画の位置づけ



基本方針

自然と人との つながりの 再構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域特有の自然環境・海浜景観の再生や資源の利活用 集いふれあえる自然環境・海浜景観の創出
震災記憶の 継承	<ul style="list-style-type: none"> 津波防災を啓発する海辺のモデルとなる公園づくり 地域の歴史や文化・震災の記憶と経験を発信・継承する仕掛けづくり
新たな賑わい ・交流の創出	<ul style="list-style-type: none"> 交流をつくる施設の整備と新たな機能の導入による賑わいづくり 周辺施設との連携や回遊性の向上



海岸公園（藤塚地区）基本計画

基本計画図

14 拠点施設



15 オープンカフェ



16 親水護岸



かわまちづくり支援制度適用

8 藤棚



13 貞山運河までの移動手段



12 全天候型遊び場



名取川藤塚地区かわまちづくり計画

かわまちづくり支援制度の概要

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和5年8月時点:264地区)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(叡上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

名取川藤塚地区かわまちづくり計画

事業の概要

- 運河や湿地における自然体験や水面利用の拠点となる施設の整備を実施。
- 運河を軸としたエリアの一体感の創出及び回遊性の向上を図る。
- 令和5年8月10日、「かわまちづくり」支援制度への新規登録。

事業の効果

- 名取川の空間利用の利便性が向上することにより自然体験、サイクリング、カヌー、SUP等のイベント利用が促進され、観光振興や地域活性化につながることを期待される。
- 対岸の名取市の関上地区かわまちづくりとの連携が期待される。

計画区域



かわまちづくり登録証伝達式



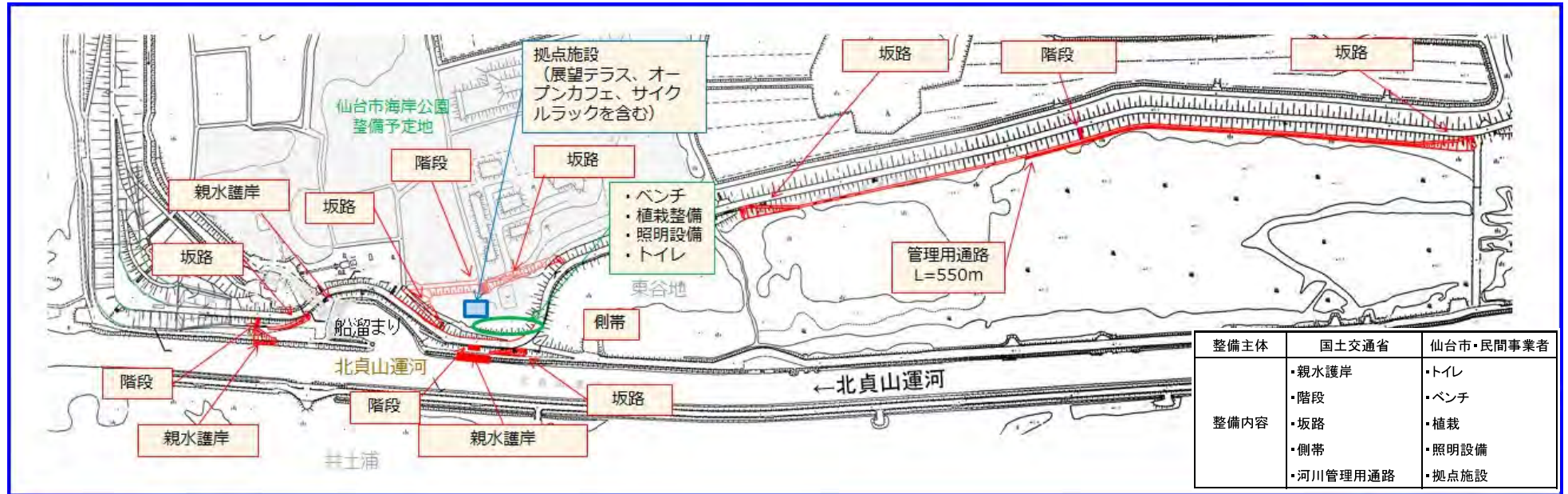
さくばの曳舟
貞山運河倶楽部
(貞山運河の水面利用)



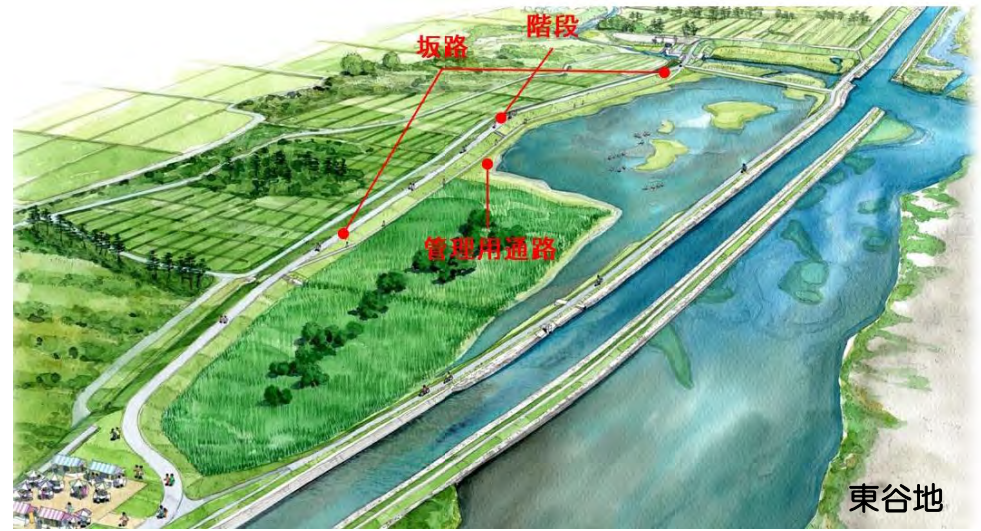
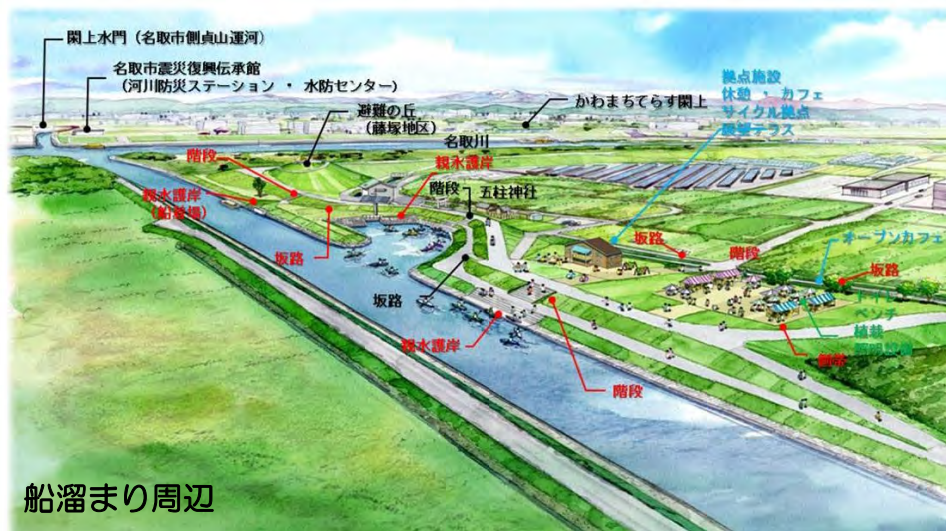
荒浜の生き物ツアー
(公財) 仙台市公園緑地協会
(仙台市海岸公園の指定管理)

名取川藤塚地区かわまちづくり計画

平面図



整備イメージ



1.事業概要

第40回全国都市緑化仙台フェア(未来の杜せんだい2023)関連イベントとして、自然の体感と貞山運河の魅力の再発見を目的に、貞山運河でのEポート乗船イベントを開催した。

2.日程

①令和5年4月30日(日)9:45~15:30 ②令和5年5月28日(日)9:45~15:30

3.場所

海岸公園センターハウス西側(仙台市若林区荒浜字北官林30)

4.参加者

- ①4/28(日):50名※申込100名から抽選
- ②5/30(日):56名※申込106名から抽選

5.参加者の感想 (以下、参加者アンケートから抜粋)

- ・水辺の生き物を見れて楽しかった。
- ・自然の現風景を満喫できた。
- ・貞山堀に直に触れ、素晴らしい水路を実感できた。



1.事業目的

本調査は、貞山運河(新堀)の河床の高さや堆砂状況を把握し、得られたデータを次年度以降の利活用検討材料とすることを目的とする。

2.調査手法

魚群探知機(ソナー)を設置した小型舟で計測し、等深線図(水面から河床までの深さを地図化したもの)と水底地形図(水底の様子を3Dで表したもの)を作成する。

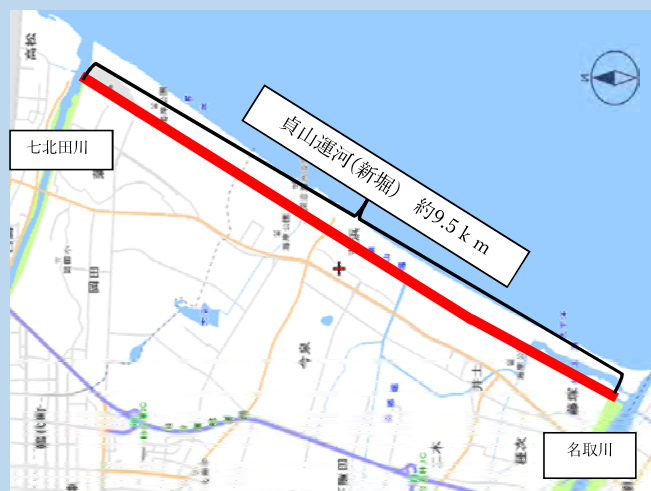
3.調査範囲

七北田川と名取川の河口を結ぶ、宮城県及び国土交通省所管の延長約9.5kmの貞山運河(新堀)

4.業務スケジュール

9/7~9/8 測量実施

~11月末 報告書作成



(図1)調査範囲



(図2)調査の様子

5. 成果品イメージ

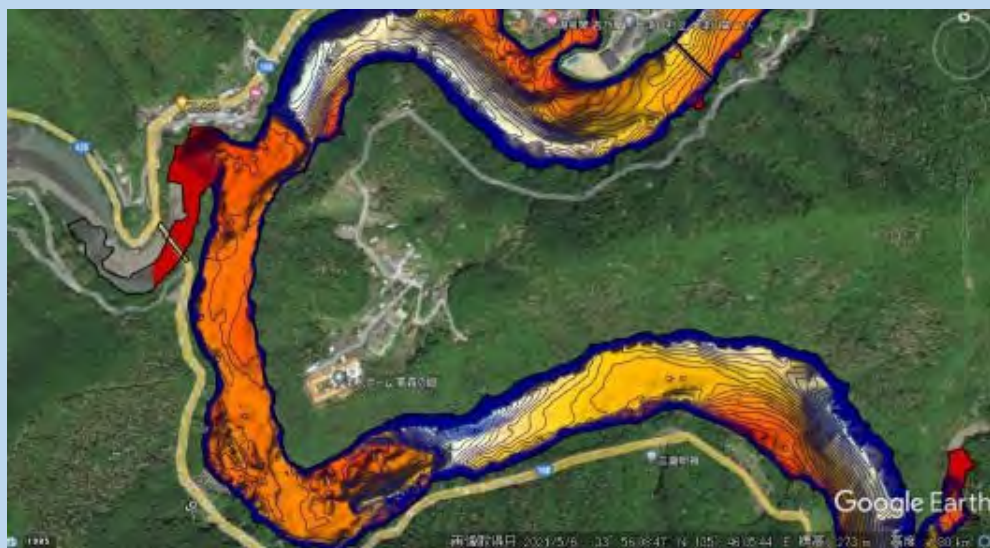


図3 等深線図イメージ

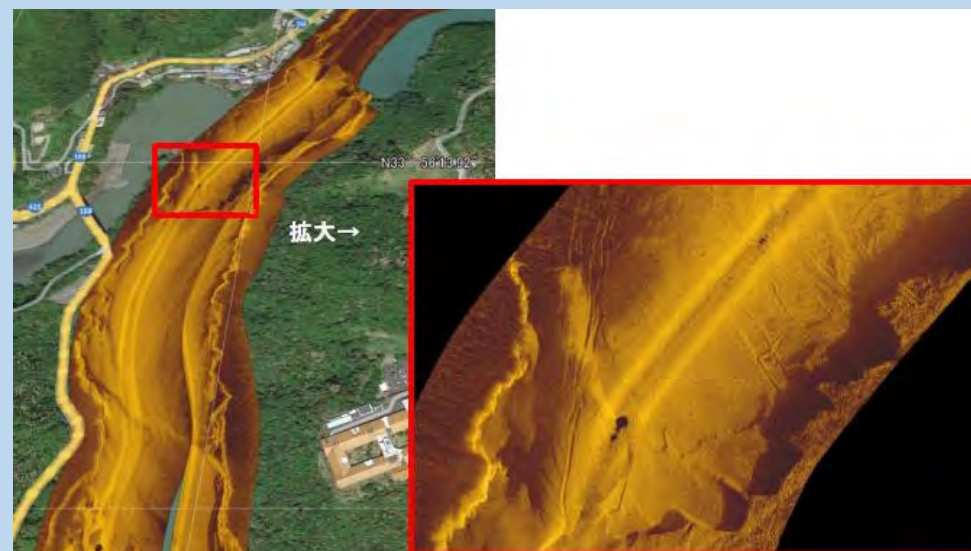


図4 水底地形図イメージ

名取市貞山運河舟運事業について

名取市生活経済部商工観光課

課長補佐 草野
主事 伊藤

目次

1. 令和5年度名取市貞山運河舟運事業概要
2. 令和5年度名取市貞山運河舟運事業 運航ルート・スケジュール
3. ゆりあげ丸について
4. MIYAGI HARBOR CLUB(第八喜多丸)について

1. 令和5年度名取市貞山運河舟運事業概要

事業概要

名取川や貞山運河、広浦等の名取市が有する豊かな水資源を活用し、被災沿岸部の集客施設を水運により結び付け、復旧復興が進められる沿岸部の交流拠点を面的に広げることで、地域交流及び地域経済の活性化や観光事業の促進を図るため実施するもの。

取組内容

- 平成29年度
運行事業者として有限会社マリンメカニックを選定。地方創生推進交付金を活用し、船舶取得費等を補助。(4,000万円)
- 平成30年度～令和2年度
平成30年度運航を開始。PR事業経費を補助。
- 令和3年度
新たな船舶「ゆりあげ丸」の整備を実施。「ゆりあげ船まつり」を開催。
- 令和4年度
5月7日からゆりあげ丸による新規航路の就航を開始。
- 令和5年度
ゆりあげ丸を活用した市民協働提案事業として「震災語り部企画」を実施。
MIYAGI HARBOR CLUB無料試乗会実施。複数のメディアでPRを実現。

現状・課題

【現状】名取市貞山運河周遊船はコロナの影響を受けながらも、着実に認知度を高めてきた。令和4年度から運航を開始したゆりあげ丸も、かわまちてらす閉上の新たなコンテンツとして、魅力向上に寄与している。

【課題】各周遊船のコースは簡単に変更することが出来ないため、何度でも楽しめるような仕組みづくりが必要である。新たな付加価値創出により、さらなる誘客に繋げていく必要がある。

2. 令和5年度名取市貞山運河舟運事業 運航ルート・スケジュール



3. ゆりあげ丸について



(1) 現状

- 1) 名取川周遊コースと貞山運河コースの乗船客数が大きく乖離している。
5～8月 ①名取川周遊：運航日17日（36名/日）②貞山運河：2日間（1名/日）
- 2) 令和5年度ゆりあげ丸全体の乗船客数は前年比158%と大幅に伸長。（表1 5月-8月期間）
- 3) ランチタイムに乗客が集中している。（表2）

表1 令和5年度乗船実績（ゆりあげ丸）

	5月	6月	7月	8月	合計	
①名取川周遊コース	乗船人数	175	90	170	179	614
	昨年比	182%	64%	156%	-	178%
②貞山運河コース	乗船人数	0	2	0	0	2
	昨年比	0%	17%	0%	-	5%
ゆりあげ丸全体 (①+②)	乗船人数	175	92	170	179	616
	昨年比	148%	61%	143%	-	158%

表2

時間帯	5月	6月	7月	8月
9:00～	1.7%	2.2%	0.0%	0.0%
10:00～	7.4%	17.4%	0.0%	3.9%
11:00～	14.9%	8.7%	11.2%	10.1%
12:00～	30.9%	44.6%	18.8%	21.2%
13:00～	19.4%	8.7%	30.6%	21.2%
14:00～	13.7%	12.0%	23.5%	32.4%
15:00～	12.0%	6.5%	15.9%	11.2%

(2) 課題

貞山運河コースは潮位の影響が大きく、運航日自体が少ない。また、本コースの認知度が低く、午前中から乗船するユーザーが極端に少ない。

(3) 今後の取り組み・検討事項

- 1) 令和6年度に向けてかわまちてらす閑上事務局に対し、名取川周遊コースだけでなく貞山運河コースの魅力が伝わるポスターの掲示を依頼することでPRを行う。
- 2) インスタグラム等のSNSにて、「一般ユーザー」に拡散していただける仕組みをつくる。
- 3) 外部団体の協力を仰ぎ、令和6年度に向けたPR動画を作成し、YouTubeやSNSを通じてPR活動を行っていく。

4. MIYAGI HARBOR CLUB (第八喜多丸) について



(1) 現状

- 1) 6月に運航開始前の無料試乗会を実施したことにより、7月にスタートダッシュが切れた。
- 2) 8月に若干昨年よりも乗船人数が減少したが、期間合計で昨年比116%と好調をキープ。

表1

令和5年度MHC乗船実績		7月	8月	合計
MIYAGI HARBOR CLUB	乗船人数	319	248	567
	昨年比	142%	99%	116%

(2) 課題

昨年より乗客数が増えているが、まだまだ認知度が足りていない。
営業時間が日・祝の8時～12時の間と限られているため、短時間で効率的に集客することが必要。

(3) 今後の取り組み・検討事項

- ゆりあげ丸と同様、外部団体による周遊船のPR動画を作成し、YouTubeやSNSを通じてプロモーションを行っていく。
- 今年度実施した無料試乗会のような期間限定イベントを今後も企画・開催することで来場促進を図る。



みやぎ防災林はぐくみ育てる実践事業について

R5.10.6_水産林政部
森林整備課 保安林班作成

1. 目的

海岸防災林を中心とした沿岸地域のにぎわいづくりのため、令和3年度から「みやぎグリーンコーストプロジェクト」と称して、動画配信やバスツアーなど、様々な普及事業を実施。

2. 今年度の取組について

(1) 広報誌（フリーペーパー）、YouTube広告による広報

(2) バスツアー開催 → 11月末に予定

- ① 一般向け・・・若い世代を取込み、将来にわたって海岸防災林内で活動を行ってもらうため、海岸防災林の育林ボランティアと、沿岸地域の魅力に触れてもらうもの。
- ② 企業向け・・・海岸防災林を企業等のCSR活動の場として提案し、新たに関わってもらう企業を発掘するため、CSR担当者を対象とした育林作業体験と海岸防災林の活用法について学ぶもの。

【バスツアー概要】 令和4年度の実績

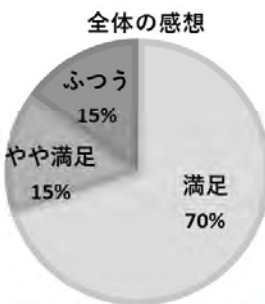
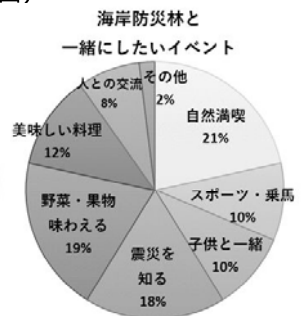
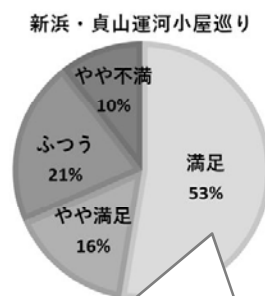
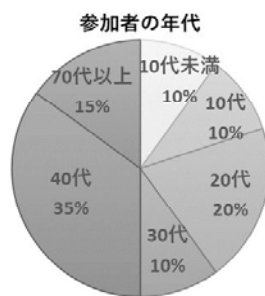
コース	東松島・七ヶ浜(11/19) (一般向け)	仙台(11/20) (一般向け)	亶理(11/22) (企業向け)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島市野蒜（育林作業） ・KIBOTCHA（BBQ・施設案内） ・おはじきアートよがさき（アート見学） ・うみの駅七のや（買物） 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市荒浜（育林作業） ・JRフルーツパーク 仙台あらはま（BBQ） ・※小屋巡りスタンプラリー ウォーキング ・アクアイグニス仙台（買物） 	<ul style="list-style-type: none"> ・亶理町吉田浜（育林作業） ・わたり温泉鳥の海（はらこ飯） ・研修会 ※海岸防災林の活用法について ・金蛇水神社（見学）
参加料金	4,900円	4,900円	4,000円
参加人数	15名（大人11名，子供4名）	22名（大人18名，子供4名）	15名（6社）

※小屋巡りスタンプラリーウォーキング

仙台市宮城野区岡田新浜地区において、貞山運河に沿って、アーティストや建築家が手がけた作品や、農家さんが手がけた小屋をめぐるもの。



バスツアーアンケート結果（仙台）



○新浜にこんなに素敵なコースがあるとは知らなかった。（30代：女性）
○地元の知らないことを知ることが出来て良かった。（40代：男性）
○アートに興味がある。今日のツアーで環境や復興とアートのコラボ的な要素が面白いと思った。（20代：男性）



いつでも、どこでも、だれでも
あなたの「学びたい」をサポート



生涯学習情報サイト
まなびの WEB 宮城
manabino miyagi

生涯学習情報サイト
まなびの WEB 宮城
manabino miyagi

まなびの WEB 宮城
manabino miyagi

宮城県内の生涯学習情報ポータルサイトがオープン!

本サイトは、県民のみなさん一人ひとりがそれぞれの希望やニーズに応じて、生涯にわたり学び続けられる環境を整備するため、また、個人の学びの成果が様々な場面で発揮されることで、地域や社会に好影響をもたらされることを目指して、県内で開催されるあらゆる生涯学習に関する講座等の情報や学びを活かす場の情報を県民みなさんに分かりやすく一元的に提供することを目的としたウェブサイトです。

講座の登録をしませんか

「まなびのWEB 宮城」で情報発信しよう!

「まなびのWEB 宮城」は、スポーツ・文化・生涯学習に関するイベント参加者募集、ボランティア・スタッフ募集、作品募集、団体の活動等に関する情報を無料で掲載できます。「こんな活動をがんばっています。」「ボランティアを募集しています。」など情報発信・情報共有の場としてご活用ください。

www.manabino-miyagi.com

宮城県教育庁生涯学習課

〒980-8423 仙台市青葉区本町3丁目8番1号15階

Tel : 022-211-3652



Facebook
▼フォロー受付中▼

詳しくは
WEBで▶



まなびの宮城

検索



令和5年度 貞山運河（新堀）水質調査について

【調査概要】

貞山運河（新堀）の水質特性を把握するために、水質調査（水温、濁度、pH、溶存酸素量等）を実施中。

【調査内容】

- 1 貞山運河の水質現況調査
 - ・ 貞山運河の水質特性の把握
- 2 流入負荷量調査
 - ・ 貞山運河に流入する負荷量等の把握
- 3 堆積土砂の性状調査
 - ・ 貞山運河に堆積している土砂の性状を定性的、定量的に把握
- 4 南水門開扉効果検証調査
 - ・ 南水門を開扉した際の効果検証

【位置図】



日本一長いみやぎの運河群の取組状況 (河川課)

宮城県



1. 運河群沿川による桜の植樹について

みやぎの運河への桜植樹は、沿岸地域の復興に向けて策定した「貞山運河再生・復興ビジョン」の主要政策にも位置付けており、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに、未来への震災体験の伝承が目的であることから、官民連携で取り組むことを基本として平成24年から実施してまいりました。運河沿川の10箇所で約800本を超える植樹となりました。

運河群への桜植樹 これまでの植樹箇所

令和5年3月末現在



【近年の状況】

- 令和5年3月18日(土)
- 東松島市(南北上運河沿い)にてオオシマザクラ48本を植樹いたしました！
- 植樹ボランティア、地元の皆様、東松島市長、市議会議員等、総勢60名の多くの方々に参加いただきました。

● 震災伝承施設として祇園しだれ桜が登録されました！

東日本大震災による津波到達点付近に震災の教訓を伝承するため、平成25年から令和元年に佐野藤右衛門氏の寄贈による祇園しだれ桜と、「はなはなプロジェクト」の寄贈による石碑が沿岸部市町に設置し、津波の脅威を後世に伝える役割を果す取組を実施いたしました。

佐野氏と「はなはなプロジェクト」の取組を全国に広く周知するとともに、各施設への来訪者にも祇園しだれ桜を知っていただくことを目的として、令和5年8月31日付けで「震災伝承施設」として24施設が登録されましたので、ご紹介いたします。



日本一長いみやぎの運河群の取組状況 (河川課)



2. 今後の取組計画について (広報活動)

第2回みやぎの運河群利活用推進会議の意見から出たキーワードをもとに取組を検討。

情報発信

取組内容の発信
海外に向けた発信

- みやぎの運河群HP掲載を継続していきます。
- 県庁内によるパネル展を実施します。

● みやぎの運河群のHP掲載について



みやぎの運河ポータルサイト - 宮城県公式ウェブサイト (pref.miyagi.jp)

みやぎの運河ポータルサイトは、運河に関する情報を発信し、魅力あふれる運河群を皆様にご紹介するために開設しています。

- 令和5年4月に民間団体の活動掲載ページをご案内するなど、内容の拡充を図っています。
- イベント情報、随時お待ちしております！

運河利活用団体のご案内

- 貞山運河倶楽部 (外部サイトへリンク)
- NPO法人ひたかみ水の里 (外部サイトへリンク)
- 野蒜緑地ファンクラブ (外部サイトへリンク)
- 貞山運河「御舟入艇」プロジェクト (外部サイトへリンク)
- 一般社団法人 貞山運河ネット (外部サイトへリンク)

掲載したいイベント情報は、PDF形式にて開催日の2週間前までに、企画調査班あてにメールにてお知らせください。

● 県庁内におけるパネル展の実施

【目的】

- みやぎの運河群沿川での取組内容をより多くの方に発信する。

【開催予定日】

- 12月11日(月)～15日(金) (1週間)

【要件】

- 設置可能なパネル枚数10枚
河川課2枚(表紙、説明ページ) 各民間団体1枚(8枚) 計10枚

【協力依頼】

- パワーポイント(縦形式)にて各民間団体の取組を紹介するにあたり右図を参考に作成願います。
なお、別途メールでサンプルを送付いたします。
提出期限は、11月中旬を予定しています。



過年度の実施状況 →

